



CHAPTER 5

電話機への Cisco Visual Voicemail のインストール

- 「電話機に Visual Voicemail サービスをインストールする方法」 (P.5-1)
- 「ボイスメール サービスの無効化」 (P.5-12)
- 「TFTP サービスとデバイスの再起動」 (P.5-12)

電話機に Visual Voicemail サービスをインストールする方法

次の表に、Visual Voicemail に適用できるインストール方法を示します。

インストール方法	メリット	デメリット
エンタープライズ登録	この方法では、Visual Voicemail をサポートするすべての電話機でボイスメール サービスを Visual Voicemail に置き換えます。これは簡単なインストール方法です。	例外的な要件を持つユーザに合わせてインストールをカスタマイズすることはできません。
個別登録	例外的な要件を持つユーザに合わせてインストールをカスタマイズできます。	すべてのユーザに対してこの方法を使用すると、インストール時間が非常に長くなる可能性があります。
一括管理	例外的な要件を持つユーザ（ボイスメール サービスしか使用できないユーザなど）に合わせてインストールをカスタマイズできます。	インストール処理はより複雑になります。

Visual Voicemail サービスのサービス パラメータを変更した場合は、サービスを削除してから、もう一度サービスを作成する必要があります。このトピックの詳細については、「[Visual Voicemail サービスパラメータの更新](#)」 (P.7-1) を参照してください。

関連項目

- 「Cisco Unified Communications システムのサービス プロビジョニングの有効化」 (P.5-2)
- 「エンタープライズ登録によるインストール」 (P.5-3)
- 「各電話機の Visual Voicemail への登録」 (P.5-4)

- 「一括管理によるインストール方法」(P.5-4)
- 「エクステンション モビリティ用のデバイス プロファイルに Visual Voicemail をインストールする方法」(P.5-6)
- 「ボイスメール サービスの非エンタープライズ登録への変更」(P.5-11)
- 「ボイスメール サービスの無効化」(P.5-12)

Cisco Unified Communications システムのサービス プロビジョニングの有効化

Visual Voicemail を Cisco Unified Communications システムにインストールする前に、電話機が Cisco Unified Communications Manager からサービスを受け取れるようにする必要があります。内部のサービス プロビジョニングを許可する必要があります。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[システム (System)] > [エンタープライズ パラメータ (Enterprise Parameters)] を選択します。

ステップ 2 [サービスのプロビジョニング (Services Provisioning)] リスト ボックスの値を次の表に示すように設定します。

現在の値	変更後の値
両方 (Both)	設定を変更しません。
内部 (Internal)	設定を変更しません。
外部 URL (External URL)	両方 (Both)

ステップ 3 [保存 (Save)] を選択します。

ステップ 4 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[デバイス (Device)] > [デバイス設定 (Device Settings)] > [共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] を選択します。

ステップ 5 [共通の電話プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Common Phone Profiles)] ウィンドウでプロファイルを検索します。

ステップ 6 共通の電話プロファイルを選択します。

ステップ 7 [サービスのプロビジョニング (Services Provisioning)] パラメータの値を次の表に示すように設定します。

現在の値	変更後の値
両方 (Both)	設定を変更しません。
デフォルト (Default)	設定を変更しません。
外部 (External)	両方 (Both)
内部 (Internal)	設定を変更しません。

ステップ 8 [保存 (Save)] を選択します。

これで、[サービスのプロビジョニング (Services Provisioning)] の値が [デフォルト (Default)] に設定されているすべての電話機に設定の変更が反映されます。

ステップ 9 Visual Voicemail をインストールする各電話機の [サービスのプロビジョニング (Services Provisioning)] の値を [デフォルト (Default)] に設定します。

たとえば、Bulk Administration Tool (BAT; 一括管理ツール) を使用して各電話機の [サービスのプロビジョニング (Services Provisioning)] パラメータを設定できます。BAT の詳細については、次の URL にある『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html

エンタープライズ登録によるインストール

エンタープライズ登録による Visual Voicemail のインストールは、次の特徴を持つシステムにのみ適しています。

- システム内の Visual Voicemail をサポートする電話機のユーザ全員が Visual Voicemail を使用する場合。エンタープライズ登録を使用すると、Visual Voicemail をサポートする電話機を Visual Voicemail のインストールから除外できません。

Visual Voicemail のユーザがボイスメール メッセージ サービスを使用する場合、各ユーザの電話機にこのサービスを追加できます。このトピックの詳細については、「[Visual Voicemail をボイスメールと相互運用する方法](#)」(P.5-10) を参照してください。

どの電話機が Visual Voicemail をサポートするかについては、次の URL にあるリリース ノートを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9829/prod_release_notes_list.html

- 電話機が Cisco Virtual Office ルータまたはその他のハードウェア VPN デバイスの背後にある場合は、Cisco Unity または Cisco Unity Connection サーバのアドレスをブロックしてはいけません。場合によっては、特定のトラフィックが音声 Virtual Local Area Network (VLAN; 仮想ローカルエリア ネットワーク) で送受信されなくなる可能性があります。管理者とともに、Cisco Unity または Cisco Unity Connection サーバのアドレスをブロックするアクセス コントロール リストやファイアウォール デバイスがないかどうかを確認します。

エンタープライズ登録を使用するときは、サービスのパラメータをサービスの URL に次の形式で入力します。

`http://<IP-address-or-host-name-of-server>/midlets/VisualVoicemail/VisualVoicemail.jad?<name-of-parameter-1>=<value-of-parameter-1>&<name-of-parameter-2>=<value-of-parameter-2>`

たとえば、次のサービス パラメータの値を入力するとします。

パラメータ	値
use_secure_https_connection	1
voicemail_server	example_hostname
vmserver_is_unity_connection	1

上記の値を入力するには、次の URL を使用します。

`http://209.165.200.225/midlets/VisualVoicemail/VisualVoicemail.jad?use_secure_https_connection=1&voicemail_server=example_hostname&vmserver_is_unity_connection=1`



(注) [エンタープライズ登録 (Enterprise Subscription)] チェックボックスは、サービスを初めて設定するときだけ表示されます。サービスを保存した後は、Cisco Unified CM の管理の [IP Phone サービスの設定 (IP Phone Services Configuration)] ウィンドウにこのチェックボックスが表示されません。

IP Phone サービス設定の詳細については、次の URL にある『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html

各電話機の Visual Voicemail への登録

手順

-
- ステップ 1** [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2** [電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウで電話機を検索します。
- ステップ 3** 電話機を選択します。
- ステップ 4** [関連リンク (Related Links)] から [サービスの登録/登録解除 (Subscribe/Unsubscribe Services)] を選択し、[移動 (Go)] を選択します。
- ステップ 5** [サービスの選択 (Select a Service)] ダイアログボックスから Visual Voicemail サービスを選択します。
- ステップ 6** [次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 7** [登録 (Subscribe)] を選択します。
- サービスの登録を解除するには、[登録解除 (Unsubscribe)] を選択します。
-

一括管理によるインストール方法

一括管理によって Visual Voicemail MIDlet をインストールするには、次の手順を実行する必要があります。

1. BAT 電話テンプレートを作成します。
2. Visual Voicemail サービスを電話テンプレートに登録します。

Bulk Administration Tool (BAT; 一括管理ツール) で Cisco Unified Communications Manager データベースに対する一括更新を実行します。BAT の詳細については、次の URL にある『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html

次の項を参照してください。

- 「BAT 電話テンプレートの作成」(P.5-5)
- 「一括管理を使用した電話機の更新」(P.5-5)
- 「電話機更新のスケジューリング」(P.5-6)

BAT 電話テンプレートの作成

BAT 電話テンプレートの詳細については、次の URL にある『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話テンプレート (Phone Template)] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 3** 適切な電話のタイプを選択し、[次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 4** **ステップ 3** で 7900 シリーズ電話機を選択した場合は、選択した電話のタイプに対応するデバイス プロトコルを選択し、[次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 5** [電話テンプレートの設定 (Phone Template Configuration)] ウィンドウで電話テンプレートに必要な情報を入力し、[保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 6** [関連リンク (Related Links)] から [サービスの登録/登録解除 (Subscribe/Unsubscribe Services)] を選択し、[移動 (Go)] を選択します。
- ステップ 7** [サービスの選択 (Select a Service)] ダイアログボックスから Visual Voicemail サービスを選択します。
- ステップ 8** [次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 9** [登録 (Subscribe)] を選択します。

一括管理を使用した電話機の更新

BAT のクエリー機能を使用して Visual Voicemail をサポートする電話機を更新し、Visual Voicemail サービスを反映します。

始める前に

サイト内の Visual Voicemail をサポートする電話機を特定します。Visual Voicemail をサポートする電話機については、次の URL にあるリリース ノートを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9829/prod_release_notes_list.html

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話の更新 (Update Phones)] > [クエリー (Query)] を選択します。
- ステップ 2** Visual Voicemail サービスの追加先となる電話機を指定するクエリーを作成します。
たとえば、9971、9951、8961 などを含むデバイス タイプを持つ電話機を指定できます。
- ステップ 3** [次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 4** [電話のリスタート (Restart phones)] を選択します。
- ステップ 5** [IP Phone サービスの割り当て (Assign IP Phone Services)] セクションで、[このテンプレートからすべてのサービスを追加 (Add all services from this template)] を選択し、作成した BAT 電話テンプレートをリストボックスから選択します。
- ステップ 6** [ジョブ情報 (Job Information)] セクションで、[後で実行 (Run later)] を選択します。

ステップ 7 [送信 (Submit)] を選択します。

クエリーを使用して一括管理を実行する方法の詳細については、次の URL にある『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html

電話機更新のスケジューリング

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[一括管理 (Bulk Administration)] > [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] を選択します。

ステップ 2 [ジョブの検索と一覧表示 (Find and List Jobs)] ウィンドウでジョブを検索します。

ステップ 3 ジョブを開始するには、ジョブ ID の左側のチェックボックスをオンにして、[選択項目のアクティブ化 (Activate Selected)] を選択します。

ジョブを後で実行するようにスケジュールするには、そのジョブ ID を選択します。[ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウでジョブの詳細を入力し、[ジョブのアクティブ化 (Activate Job)] を選択します。

一括管理ジョブのスケジューリングの詳細については、次の URL にある『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html

エクステンション モビリティ用のデバイス プロファイルに Visual Voicemail をインストールする方法

エクステンション モビリティを必要とするシステム内の電話機に Visual Voicemail サービスをインストールするときは、Visual Voicemail を次の両方にインストールする必要があります。

- エクステンション モビリティ サービスが登録されているすべての電話機。これらの電話機に Visual Voicemail MIDlet をインストールすると、ユーザの使用中にエラーが発生する可能性が低くなります。
- エクステンション モビリティ プロファイルに関連付けられたすべてのデバイス プロファイル。

次の手順を実行します。

- 「UDP ファイル形式の作成」(P.5-7)
- 「UDP テンプレートの作成」(P.5-7)
- 「プロファイル情報のエクスポート」(P.5-8)
- 「プロファイル情報のインポート」(P.5-9)
- 「プロファイルが Visual Voicemail サービスに登録されていることの確認」(P.5-10)

電話システム内の SIP 電話機と SCCP 電話機の両方に Visual Voicemail をインストールする場合は、上記の手順をプロトコルごとに個別に実行する必要があります。

UDP ファイル形式の作成

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ デバイス プロファイル (User Device Profiles)] > [UDP ファイル形式 (UDP File Format)] > [UDP ファイル形式の作成 (Create UDP File Format)] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 3** [形式名 (Format Name)] フィールドに、ファイル形式の一意の名前を入力します。
- ステップ 4** [デバイス フィールド (Device Fields)] リスト ボックスのすべてのフィールドを [選択済みのデバイス フィールド (Selected Device Fields)] リスト ボックスに追加します。
- ステップ 5** 次のリスト ボックスが空であることを確認します。
 - [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)]
 - [選択済みのインターコム DN フィールド (Selected Intercom DN Fields)]
- ステップ 6** [IP Phone サービスの最大数 (IP Phone Service Maximums)] セクションに含まれるすべてのフィールドの値がゼロ (0) であることを確認します。
- ステップ 7** [保存 (Save)] を選択します。

UDP テンプレートの作成

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ デバイス プロファイル (User Device Profiles)] > [UDP テンプレート (UDP Template)] を選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 3** [デバイス プロファイル タイプ (Device Profile Type)] リスト ボックスから適切な電話機モデルを選択し、[次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 4** **ステップ 3** で電話機タイプとして 7900 シリーズを選択した場合は、Visual Voicemail をインストールするプロファイルのプロトコルに応じて [デバイス プロトコル (Device Protocol)] リスト ボックスから [SCCP] または [SIP] を選択し、[次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 5** [ユーザ デバイス プロファイル テンプレート名 (User Device Profile Template Name)] フィールドに、テンプレートの一意の名前を入力します。
- ステップ 6** [電話ボタン テンプレート (Phone Button Template)] から標準電話ボタン テンプレートを選択します。
- ステップ 7** [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 8** [関連リンク (Related Links)] から [サービスの登録/登録解除 (Subscribe/Unsubscribe Services)] を選択し、[移動 (Go)] を選択します。
- ステップ 9** [サービスの選択 (Select a Service)] ダイアログボックスから Visual Voicemail サービスを選択し、[次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 10** [登録 (Subscribe)] を選択します。



(注) この手順で指定された項目以外の UDP テンプレートのデフォルト値は変更しないでください。

プロフィール情報のエクスポート

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ デバイス プロファイル (User Device Profiles)] > [UDP のエクスポート (Export UDP)] > [固有の詳細 (Specific Details)] を選択します。
- ステップ 2** Visual Voicemail サービスの追加先となるプロフィールを指定するクエリーを作成します。
Visual Voicemail サービスの追加先となるプロフィールだけがクエリーで検出されることを確認してください。Visual Voicemail は VPN ルータをサポートしていないため、VPN によってシステムに接続するプロフィールはクエリーから必ず除外してください。
プロフィールからサービスの登録を解除するのは困難なため、Visual Voicemail サービスの追加先となるプロフィールだけがクエリーで検出されることを確認してください。
たとえば、8961、9951、9971 などを含むデバイスタイプを持つプロフィールを指定できます。
- ステップ 3** SIP プロファイルまたは SCCP プロファイルのみを指定する条件をクエリーに追加します。そのためには、次のように条件を作成します。

フィールド	設定
[ユーザ デバイス プロファイルの検索先を指定する (Find User Device Profile where)] リスト ボックス	[デバイス プロトコル (Device Protocol)] を選択します。
[条件 (Condition)] リスト ボックス	[が次の文字列と等しい (is exactly)] を選択します。
[値 (Value)] テキスト ボックス	SIP または SCCP と入力します。

クエリーを使用して一括管理を実行する方法の詳細については、次の URL にある『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html

- ステップ 4** [検索 (Find)] を選択します。
クエリーで検出されたプロフィールのリストを調べて、Visual Voicemail サービスの追加先となるプロフィールだけがクエリーで検出されることを確認します。
- ステップ 5** [次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 6** [ユーザ デバイス プロファイルのエクスポート (Export User Device Profiles)] ウィンドウで、次のように情報を入力します。

フィールド	設定
ファイル名 (File Name)	エクスポートするファイルの名前を入力します。
ファイル形式 (File Format)	「UDP ファイル形式の作成」(P.5-7) で作成したファイル形式を選択します。

- ステップ 7** [ジョブ情報 (Job Information)] セクションで、[今すぐ実行 (Run Immediately)] を選択します。

ステップ 8 [送信 (Submit)] を選択します。

ステップ 9 [一括管理 (Bulk Administration)] > [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] を選択します。

エクスポート操作が正常に実行されたことを確認します。ジョブ ID を選択すると、操作の詳細 (指定したファイル名など) が表示されます。

プロファイル情報のインポート

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[一括管理 (Bulk Administration)] > [ファイルのアップロード/ダウンロード (Upload/Download Files)] を選択します。

ステップ 2 [ファイルの検索と一覧表示 (Find and List Files)] ウィンドウで、「[プロファイル情報のエクスポート \(P.5-8\)](#)」で作成したファイルを検索します。

ステップ 3 ファイルを選択し、[選択項目のダウンロード (Download Selected)] を選択します。

ステップ 4 ダウンロードしたファイルの名前を変更します。

ステップ 5 [新規追加 (Add New)] を選択します。

ステップ 6 [ファイルのアップロード (File Upload Configuration)] ウィンドウで、次のように情報を入力します。

フィールド	設定
ファイル (File)	ダウンロードして名前を変更したファイルを選択します。
ターゲットの選択 (Select The Target)	[UDP] を選択します。
トランザクション タイプの選択 (Select Transaction Type)	[UDP の挿入 - 特定の詳細 (Insert UDP - Specific Details)] を選択します。

ステップ 7 [保存 (Save)] を選択します。

ステップ 8 [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ デバイス プロファイル (User Device Profiles)] > [UDP の挿入 (Insert UDP)] を選択します。

ステップ 9 [ユーザ デバイス プロファイルの設定 (User Device Profiles Configuration)] ウィンドウで、次のように情報を入力します。

フィールド	設定
ユーザ デバイス プロファイルの固有の詳細の挿入 (Insert User Device Profiles Specific Details)	このオプションを選択します。
ファイル名 (File Name)	ステップ 6 で指定したファイルを選択します。

フィールド	設定
ユーザ デバイス プロファイル テンプレート名 (User Device Profiles Template Name)	「UDP ファイル形式の作成」(P.5-7) で作成したファイル形式を選択します。
既存の設定の上書き (Override the existing configuration)	このオプションを選択します。

ステップ 10 [ジョブ情報 (Job Information)] セクションで、[今すぐ実行 (Run Immediately)] を選択します。

ステップ 11 [送信 (Submit)] を選択します。

プロファイルが Visual Voicemail サービスに登録されていることの確認

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[デバイス (Device)] > [デバイス設定 (Device Settings)] > [プロファイル (Profile)] を選択します。

ステップ 2 [デバイス プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Device Profiles)] ウィンドウでデバイス プロファイルを検索します。

ステップ 3 デバイス プロファイルを選択します。

ステップ 4 [関連リンク (Related Links)] から [サービスの登録 / 登録解除 (Subscribe/Unsubscribe Services)] を選択し、[移動 (Go)] を選択します。

Visual Voicemail サービスがデバイス プロファイルに登録されていることを確認します。

ステップ 5 エクステンション モビリティで使用する電話機にサインインし、メッセージ ボタンを押します。

Visual Voicemail アプリケーションが起動することを確認します。

次の作業

- 「TFTP サービスとデバイスの再起動」(P.5-12)

Visual Voicemail をボイスメールと相互運用する方法

標準の Cisco Unity および Cisco Unity Connection ボイスメール サービスは、Cisco Unified Communications Manager では *Voicemail* という名前の電話サービスとして設定されています。このサービスはエンタープライズ登録として有効になっているため、すべての電話機がこのサービスに登録されています。

Visual Voicemail はボイスメール サービスと共存できます。Visual Voicemail を導入するときに、次のオプションを選択できます。

- 既存のボイスメール サービスを変更しません。すべての電話機を Visual Voicemail サービスに登録します。ユーザがメッセージ ボタンを押すと、次のようにサービスのリストが表示されます。

– Voicemail

– VisualVoicemail

ユーザは使用するサービスを選択できます。

- 既存のボイスメール サービスをエンタープライズ登録にならないように変更します。次に、一部の電話機をボイスメール サービスだけに登録し、一部の電話機を **Visual Voicemail** サービスだけに登録します。ユーザがメッセージ ボタンを押すと、その電話機が登録されているサービスが開始されます。
- ボイスメール サービスを無効にして、すべての電話機を **Visual Voicemail** サービスに登録します。ユーザがメッセージ ボタンを押すと、**Visual Voicemail** が開始されます。

関連項目

- 「ボイスメール サービスの非エンタープライズ登録への変更」 (P.5-11)
- 「ボイスメール サービスの無効化」 (P.5-12)

ボイスメール サービスの非エンタープライズ登録への変更

始める前に

既存のボイスメール サービスをエンタープライズ登録にならないように変更するには、サービスを削除してから再度追加する必要があります。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[デバイス (Device)] > [デバイス設定 (Device Settings)] > [IP Phone サービス (Phone Services)] を選択します。
- ステップ 2** [IP Phone サービスの検索と一覧表示 (Find and List IP Phone Services)] ウィンドウで、*Voicemail* という名前のサービスを検索します。
- ステップ 3** *Voicemail* サービスのチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** [選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択し、確認のため [OK] を選択します。
- ステップ 5** [新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 6** 次の表に従って、[IP Phone サービスの設定 (IP Phone Services Configuration)] ウィンドウの各フィールドに値を入力します。

フィールド	値
サービス名 (Service Name)	Voicemail と入力します。
ASCII サービス名 (ASCII Service Name)	Voicemail と入力します。
サービス URL (Service URL)	Application: Cisco/Voicemail と入力します。
サービス カテゴリ (Service Category)	[XML サービス (XML Service)] を選択します。
サービス タイプ (Service Type)	[メッセージ (Messages)] を選択します。

その他のフィールドは空のままにします。

ステップ 7 [保存 (Save)] を選択します。

ボイスメール サービスの無効化

始める前に

Visual Voicemail をインストールした後で、ボイスメール サービスを無効にすることもできます。ボイスメール サービスを無効にした後で再度有効にすると、ユーザがメッセージ ボタンを押したときに、ボイスメール サービスと Visual Voicemail を含むサービスのリストが表示されます。

手順

- ステップ 1** [デバイス (Device)] > [デバイス設定 (Device Settings)] > [IP Phone サービス (Phone Services)] を選択します。
 - ステップ 2** ボイスメール サービスを検索します。
 - ステップ 3** サービスを選択します。
 - ステップ 4** [有効 (Enable)] の選択を解除します。
 - ステップ 5** [保存 (Save)] を選択します。
-

TFTP サービスとデバイスの再起動

登録を更新したら、クラスタに含まれるすべての TFTP サービスを再起動し、次に Cisco Unified Communications Manager に含まれるすべてのデバイスを再起動します。

TFTP サービスを再起動する方法については、次の URL にある『*Cisco Unified Serviceability Administration Guide*』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html

デバイスを再起動するには、クラスタ内の各デバイス プールのデバイスをリセットします。

Cisco Unified Communications Manager 内のデバイスを再起動する方法については、次の URL にある『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html